

会議の開催結果について

- 1 会議名 平成30年度第2回上尾市総合教育会議
- 2 会議日時 平成30年12月27日(木)
午前・午後11時00分から12時00分まで
- 3 開催場所 本庁舎3階 庁議室
- 4 会議の議題 (1) 児童生徒の安心・安全対策について
(2) 児童生徒のいじめ・暴力防止対策について
(3) その他
- 5 公開・非公開の別 原則公開
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴者数 1名
- 8 問い合わせ先 秘書政策課
(担当課)

議事の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
<p>司会 (市長政策室長)</p> <p>市長</p>	<p>皆様、こんにちは。 本日は、お忙しい中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。 只今から、平成30年度第2回上尾市総合教育会議を開会させていただきます。私は本日の司会を務めさせていただきます、市長政策室長の中島と申します。どうぞよろしく願いいたします。 それでは初めに、本会議の設置者であります畠山市長から挨拶を申し上げます。</p> <p>市長挨拶 皆様、こんにちは。市長の畠山でございます。 本日は、第2回目の総合教育会議ということで、一言私の方からご挨拶申し上げたいと思います。 教育委員会の皆様には、毎月の定例会の他、自ら勉強会、研修会など積極的に取り組んでいただきましてありがとうございます。 また、日々の教育の発展に努めていただいておりますことに感謝申し上げます。 この総合教育会議は、平成26年の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、地方公共団体の長が設置することとなったもので、地方公共団体の長と教育委員会が連携を強化し、十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的としています。 今回のテーマでは、「児童生徒の安心・安全対策」、「児童生徒のいじめ・暴力防止対策」ですが、児童生徒を取り巻く環境が日々複雑化する中で、安心して生活が送れるために必要なこと、子どもたちと寄り添うことなど、本日も活発なご意見をお願いします。 上尾市としましても、各施策や取り組みの実行性を高め、様々な教育課題に的確に対応するために、本日のような会議により課題が明らかになることが、次の施策の立案に向けて非常に有効であると思っています。 今後も、上尾の子どもたちのために、本市の教育行政の充実、発展に努め、皆さま方とも一層連携を強化していきたいと考えておりますので、ご協力をお願いしまして、開会の挨拶とさせていただきます。 よろしく申し上げます。</p>
<p>司会 (市長政策室長)</p>	<p>教育委員就任について ありがとうございました。 また、10月1日付けにて 小池 智司様 が新たに上尾市教育委員会委員にご就任されました。 そこで大変恐縮ではございますが、小池様に自己紹介をお願いしたいと思います。</p>

小池委員	<p>皆様、おはようございます。10月1日付で教育委員に任命されまして、務めさせていただいています、小池智司（さとし）と申します。どうぞよろしくお願い致します。</p>
司会 (市長政策室長)	<p>事務局紹介 ありがとうございました。 続きまして、総合教育会議を担当しております事務局をご紹介します。 初めに、秋山秘書政策課長です。そして、事務局の野崎と西山でございます。そして私、市長政策室長の中島でございます。 どうぞよろしくお願い致します。</p>
司会 (市長政策室長)	<p>それでは、早速、会議に移らせていただきます。 会議の進行につきましては、上尾市総合教育会議運営要綱第3条の規定により、畠山市長にお願い致します。</p>
市長	<p>それでは、要綱の定めにより議事を進行させていただきます。 皆様のご協力をお願い申し上げます。 それでは、次第に従い進めて参ります。初めに、本会議の公開について、本会議は「原則公開」となっております。 事務局に確認します。本日、傍聴を希望される方はいらっしゃいますか。</p>
事務局 (秘書政策課長)	<p>はい、本日傍聴者1名来ております。</p>
市長	<p>「傍聴あり」ということでありますので、只今から、傍聴者に入場させていただきます。事務局は、傍聴者を入場させてください。</p>
事務局 (秘書政策課長)	<p>はい。</p>
市長	<p>傍聴者に傍聴上の注意を申し上げます。 先ほどお配りしました「傍聴に当たっての注意事項」をよくお読みいただき、遵守するようお願いいたします。注意事項に反することがあった場合には、退場していただく場合がありますのでご了承願います。 それでは、議題の(1)「児童生徒の安心・安全対策について」、説明をお願いします。</p>
教委事務局 (学校教育部長)	<p>はい。話し合いの「糸口」になればと思いますが、お手元に配布した資料に沿いながら、簡単になりますが、説明させていただきます。 大きな項目の1点目、「児童生徒の安心・安全対策」について、1つ目は、「不審者の対応」です。 教育委員会では、警察などからの「不審者情報」を、各小・中学校</p>

教委事務局
(学校教育部長)

へ、「防犯速報」として送り、注意喚起などを行っています。

各学校では、スクールガード・リーダーや防犯ボランティア、PTAの皆様方に、青パトなどを運行していただき、見守り活動を実施しています。

また、学校への侵入者対策としては、防犯カメラを設置する他、さすまたを備えるなど、安全な環境づくりに努めています。

課題は、見守りをする方の高齢化、あるいは、子ども自ら危険を判断し、行動することが重要となるため、防犯教育の更なる充実が必要です。

2点目は、「安全な通学路対策」です。

まず、「交通安全」ですが、児童生徒の交通事故は、毎年度、30～40件発生しており、その内、自転車の事故が7割以上を占めています。

事故防止には、ヘルメット着用やライトの点灯などを、引き続き、指導することが重要と考えます。

次に、「防犯面」ですが、国は、新潟市の事件を受け、「登下校・防犯プラン」を策定しました。教育委員会では、このプランに基づき、危険箇所の「合同点検」を8校の小学校で実施しました。

なお、ブロック塀の点検については、学校と市の職員が実施しており、最終的に市の建築安全課が危険と認定した箇所が、26か所ございました。

3点目は、「暑さ対策」です。

環境省の「熱中症・予防情報サイト」を参考に、「暑さ指数」が「31℃」を超える予想が出た場合は、「予報」を、「31℃」を超えた場合は、「警報」を、教育委員会から各学校・平方幼稚園に通知しています。

各学校では、「31℃」を超えた場合、原則として運動を中止するなどの対応を取っています。

教室のエアコンは、室内の温度が17℃以上、28℃以下に保たれるようマニュアルに沿って使用しています。

なお、今回、小学校13校の「音楽室」へのエアコン設置について、予算措置をいただき、感謝を申し上げます。

4点目は、「学校給食食物アレルギーへの対応」です。

配慮を要する児童生徒が年々増加し、今年度、食物アレルギーを有する児童生徒が、577人、エピペンを持参している児童生徒が、54人おります。

対応については、給食の原材料を記入した「献立表」や「成分表」を保護者に配布し、保護者の指示や児童生徒の判断で、原因食品を取り除くなどしています。

今年度、予算をいただき、10名の「臨時学校栄養士」を、小学校に配置しました。安全な給食の提供につながっています。

課題は、上尾市全体の、「統一した」対応方針を策定することで、現在、「委員会」を立ち上げて、検討を進め、年度末までの策定を目指しております。

<p>教委事務局 (学校教育部長)</p>	<p>5点目は、「AEDの活用」です。 7月から、各学校へ2台設置していただき、機動性や利便性が大きく向上しました。表の通り、実際に電気ショックと心肺蘇生の処置を行い、尊い命を救った事例が、複数ありました。 直近では、先月21日、大石小学校で、持久走の練習中に、女子児童が心肺停止状態となり、養護教諭を中心に、複数の教職員が連携して救命した、という事案がありました。 今後も全教職員、また、児童生徒が、迅速に、適切に対応できるよう、心肺蘇生法の研修会を実施するなどして、救命体制をさらに整えていきたいと考えています。 大きな項目の一点目、説明は以上です。</p>
<p>市長</p>	<p>はい。ありがとうございました。 学校教育部長からひと通り説明がありました。これにつきまして、意見交換をしたいと思います。 「1-1の不審者の対応」について何かご意見はありますか。</p>
<p>教育長</p>	<p>不審者情報について 情報として、不審者の情報は教育委員会にあがってくるがありますが、その際は、防犯の速報を流します。幸いなことに不審者から実害を被り、病院対応したなどはありません。地域の方々が協力的に見守り活動をしているお陰です。</p>
<p>内田委員</p>	<p>地域ボランティアの高齢化について 地域でボランティアをすることがとても大変だということがどの地区でもありまして、高齢化が進み80歳を超えるボランティアの方も増えており、後継者が見つからないということがどの地区でも言われています。もう少し、PTAの方で何とかしていただけないか、ということを経験の方から言われています。</p>
<p>市長</p>	<p>ボランティアに限らず、サークルやスポーツなど高齢化の問題はどこでもそうかもしれませんね。</p>
<p>内田委員</p>	<p>どうしても地域の方に頼ってしまうところがありますね。</p>
<p>大塚委員</p>	<p>地域と中間層の方とのつながりについて 「地域とのつながり方」というところですが、PTAまでは行い、終わると離れてしまい、あと頼むのは高齢者の方しかいないという形で、中間層との繋がりが無い状況です。中間層との繋がりをどうにか見つけ、考えないといけないと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>中間層の若い人の中には、既に地域ボランティアをやってくれている人がいる、十分ではないかという認識があり、出来上がっているグループに新しい人が入っていきにくく、なかなか入り込めない状況があるのではないかと思います。実際はそうではないと思いますが。</p>

細野教育長職務 代理者	<p>P T Aの見守り活動ですが、朝は、通学路の旗振り当番があり、黄色いベストを着た方もやっています。今上尾市は、子どもの声で夕方4時頃、放送が流れます。とても効果的だと思います。</p> <p>今年度は3校だけ、上尾市はコミュニティスクールを行っており、次年度から全校で導入し、地域全体で学校運営協議会を作り、その中でも重要な議題の一つにも挙がってくると思います。</p> <p>「なり手がいない」、「組織に入っていけない」ということが問題だが、議題として挙げて、積極的に行うにはどうしたらよいか ということのを自治会等含め問題列挙していくことで組織ができてくるのだと思います。</p>
市長	<p>コミュニティスクールについて</p> <p>コミュニティスクールは3校でしたね。</p>
教育長	<p>はい。今年度で3校の先行実施は終わり、来年4月（2019年）から全校一斉にコミュニティスクールが始まります。</p>
教育長	<p>自分が校長の時に、見守りをやっていた高年齢の方と話をし、その中で「P T Aの協力が少ない」ということをよく聞きました。でも話をしている場に、P T A会長は居ませんので、情報共有や伝達が難しいという問題がありました。</p> <p>今後、コミュニティスクールの中に、「学校運営協議会」というのができ、学校運営協議会委員が一同に揃い同じテーブルで、学校と地域が一体となり意見を出し合い、課題解決に向けて進めていくので、情報共有を図ることができます。今までとは一味違ってくるのかなと思います。</p> <p>高齢化が進む中、直ぐに後継者が次に出てきてくれるかは難しいかもしれませんが、学校運営協議会委員みんなですべて話ができるので、今までとは違ってくると思います。「学校運営協議会」を進めるにあたり、学校がうまくコーディネートしていければいいと思います。</p>
市長	<p>コミュニティスクールをどの範囲まで、どこまで行うのかはまだ分からない部分がありますが、この制度は必要だと思います。</p>
中野委員	<p>コミュニティスクールに期待すること</p> <p>私は原市の地区ですが、夕方、地域でボランティアをしてくださっている方をみると高齢化しているなと感じています。毎日出てきてくださるので有難いなと感謝しています。</p> <p>地域によってはボランティアがゼロのところがあります。次の世代に繋いでいく方法 ということ考えなければいけないのですが、今は60歳を過ぎても仕事をされている方が多いので、方法を見つけていくのが難しいなと思っています。</p> <p>コミュニティスクールということで、話し合う機会が設けられ、繋</p>

中野委員	<p>いでいくものが出てきたのでコミュニティスクールに期待したいと思います。</p> <p>先ほど、「子どもの声で放送が入るのがとてもいい」というご意見がありました。私はいつも自分の地域を見ていて、この季節になると早く日が落ちて暗くなるので、暗い状況というのが不審者の対応について危険だなと思います。明るいとこであれば危険回避できるような状況もあるのかなと思うところもあります。</p> <p>コミュニティスクール等で、地域の方を含め、一同に会したところで、情報を共有できるというところで、コミュニティスクールに期待しています。</p>
市長	<p>地域ボランティアの新規募集について</p> <p>地域防犯ボランティアの組織の中で、新しい人を育てようというのがないと今のままでいいよね ということが終わってしまいます。新しい人をいれていこう というのが組織の中であるといいと思います。</p>
細野教育長職務 代理者	<p>組織の中で循環が図ればいいと思います。</p>
市長	<p>おそらく高齢者の方も本当に一生懸命やろうと思ってやっているのだと思います。でもその中で、組織の中に若い人もいたらいいなという気持ちもあると思います。ただ、若い人が居ないし、今いるメンバーでどうにかやろうよ という気持ちもあると思います。</p> <p>組織の中で、やっぱり若い人を入れていこうよ、まわしていこうよというきっかけや動きが必要かなと思います。</p>
市長	<p>コミュニティスクールの進め方について</p> <p>コミュニティスクールに期待する部分は大きいと思います。コミュニティスクールの「もっていき方」が最初からはっきりしていないと（ここまでこうやりたい等）今までと同じになってしまいます。</p>
内田委員	<p>地域行事への子どもの参加について</p> <p>コミュニティスクールの始まりということで、区長さんと話をした時に、自分の地区には子どもはほとんど居なくなっている。そうになっていった場合に、コミュニティスクールは自分の地区は関われないのではないかと心配されているところがあります。</p> <p>子どもがくれば、お祭りなど地域行事が賑わいますが、お祭りのやり手がいなくなってしまうたり、子ども会がなくなってしまうたり、どうしたらいいのか聞かれたことがあります。</p>
教育長	<p>保護者の方々からすると、PTAでも役割りがある中で、さらに子ども会でも役割りがあると負担もあり、子ども会の参加も少なくなってしまう。</p> <p>子育てが終わっている市民の方々に地域行事への啓発活動をどうしていくか というのは本当に難しいと思います。</p>

教育長	<p>参加していただけるような仕組み作りをどうしたらよいか、学校を中心にしながら、地域の代表になっている方々（区長さんや各団体の方々など）に良い知恵はないのか話し合うことが必要だと思います。</p> <p>市長が仰っていたように、4月から市でスタートするコミュニティスクールにおいて、各学校の特色を出しつつ、方向性のある程度一致していき、共通の議題を設けていければと思います。</p>
市長	<p>自分も地域行事に行く中で最近よく見るのが、地域の運動会に行った時に、「〇〇中学校の生徒が今何人来ていますよ」という紹介があり、子どもたちは地域の行事に入り込んでいるのを見かけます。褒めたり、また紹介したりして、子どもたちは、いきいきと参加し、とても良いと思います。</p> <p>子ども会行事の中でも何の行事が少ないのか、地域のお祭り行事（夏祭り）、運動会で選手がいないなどでしょうか。</p>
教育長	<p>地区の駅伝など、スポーツイベントなどですと、どうしても少ないです。</p>
市長	<p>子ども会だけで行うといっても難しいと思います。学校からも子ども達へ、「地域の行事への参加」を呼び掛け働きかけがないと、参加する子も増えないと思います。地域行事の中で、子ども会に参加する子が少ない地域においては、学校の協力体制が必要だと思います。</p> <p>市としては、子どもたちに地域行事に参加して地域と触れ合って育ててもらいたいというのがあります。</p>
教育長	<p>地域行事と部活動について</p> <p>中学校の現場からは、今働き方改革を含めながら、中学校の部活動もここ数年で大きく変わってくるかと思っています。地域の方から、「地域行事に参加してください」と言われても、土日部活の練習や練習試合が入っている中で、実際厳しいところがあります。</p>
市長	<p>やはり、地域の行事に参加して、地域で育ててもらいたいというのがあります。部活動の調整も必要かと思っています。</p>
教育長	<p>学校でも地域の行事に参加していこう という動きが、全国的に出てきているので、今度は変わると思います。</p> <p>中学校の教員も土日は部活動に縛られてしまっているのですが、今後、先生方も意識改革をしていただき、地域行事への参加に子どもたちを向けていっていただければと思います。</p>

市長	「1-2の安全な通学路対策」について何かご意見はありますか。
大塚委員	大阪での事故を踏まえて、その後のブロック塀等の危険箇所点検は、全国、上尾を含めて対応が早かったのではないかと思います。
市長	自転車の事故について 児童生徒の交通事故のうち、自転車の事故が70%以上なのですか。
教育長	はい。そうです。
教育長	交通安全教育について 自転車の事故は、中でも小学校低学年に多いです。危険な箇所や、こういう状況になった場合自分がどうしなければいけないか(危険から守るにはどうしたらよいかなど)判断力がまだ根付いていないという状況があるのだと思います。学校としては、交通安全教育ということで、そういうこともしっかり学ばせていると思います。 子ども達は、放課後自転車で遊びに行ったり、暗くなってから道端で遊んだり、そういう所の危険が普段見えていて非常に多くあります。 改めて、「交通安全教育」というものを地域と一緒にやって、保護者にも啓発しながら子ども達を交通事故からどういうふうにして守っていくかということを考えていかなければいけないのかなと思います。
市長	小学生が自転車で登校ということはないですね。
教育長	はい。家に帰ってから自転車で遊びに行く際の事故です。
市長	まだ、小学生(中でも低学年の方には)、危険度が分からない部分もあるのかと思います。 昔、交通安全教育の中で、自転車講習会のようなものをしていましたよね。今は、実施しているのでしょうか。
教委事務局 (学校教育部長)	自転車の乗り方や勉強会などは、学校ごとに小学校1年生から6年生まで、参加して、自転車の正しい乗り方、横断歩道の渡り方など警察の方等をお願いして、隔年で説明して下さる方たちを変えていますが、毎年必ず全校で少なくとも1回は実施しています。
教育長	市役所の交通防犯課で行っている交通防犯教育は、学校でも活用しています。
市長	最近私のところに、自転車の正しい乗り方を指導している人が、「最近、学校で交通安全の指導講習をお断りされてしまい、どうしても子どもの自転車事故を心配しているので、指導講習をやらせてください」という話がありました。
教育長	今、小学校でも交通安全教育を実施しています。

教育長	<p>ヘルメットの着用について</p> <p>あと、中学校では、自転車通学を許可している学校がありますので、ヘルメットを着用して、登下校するようにしています。</p> <p>その中で、市PTA連合会から市内11校の中学校でヘルメット着用する際に、温度差があります。と言われました。例えば、練習試合の時に着用を義務付ける学校の先生もいれば、着用しなくてもいいという先生もいればとのことでした。中学校の先生方には、協議してくださいということをお願いしました。方向性としては、部活動に絡む中での延長線上である活動は、きちんとヘルメットをかぶる ということになっています。命を守るべき「ヘルメットの着用」はさらに徹底していかなければいけない と思います、</p>
市長	ヘルメットは自分で用意するのですか。
教育長	<p>はい。自分で用意していただきます。</p> <p>かつてはヘルメットをかぶってない上尾市内の状況からすると、中学生は割とかぶるようになってきました。大会の時は必ずかぶっています。</p>
市長	マナーをきちんと守り、止まる場所では、必ず止まらなければいけない、ということをお願いし、低学年のうちから教えないといけませんね。
市長	「1-3の暑さ対策」 について何かご意見はありますか。
教育長	<p>今まで上尾市も「暑さ指数」で、「予報」や「警報」を、教育委員会から各学校・平方幼稚園に通知してきました。</p> <p>分かってきたこととして、この「暑さ指数」が同じ上尾市内の中学校でもかなり違うことが分かりました。</p> <p>例えば、上尾南中学校の情報では、すぐ隣に川が流れており、グラウンドで測ってみると、インターネットの情報で出ている代表のさいたま市の暑さ指数とかなり違うことが分かりました。また、体育館では、暑さ指数がかなり高くなっていました。</p> <p>そういうこともあり、窓口である市役所の学校保健課にお願いしましたが、さいたま市の暑さ指数だけを見るのではなく、基準を決めたので、各学校で暑さ指数がきちんと図り、各学校で対応できるように健康第一でお願いしたいと思います。</p>
市長	各学校に暑さ指数を測る機械はないのですか。
教育長	今までなかったのですが、来年度各学校において、測れるようにします。
市長	「暑さ指数」というのは、気温ということではないのですか。

教育長	<p>はい。気温ではないです。機械購入費は、来年度予算に計上しています。</p> <p>例えば、市民体育館では、毎日インターネットを見て、入口に暑さ指数の情報を貼りだしています。インターネットでは、さいたま市の情報しか出ていないので、各学校ごとにきちんと測れるようにしていきたいと思います。</p>
市長	<p>音楽室のエアコン未設置の13校に、来年の6月初旬頃にエアコンを設置します。</p>
教育長	<p>学校の給食室は夏場大変な暑さになるので、冷房機器の整備が課題であり、エアコンが設置されると助かります。</p>
市長	<p>「1-4の学校給食食物アレルギーへの対応」について何かご意見はありますか。</p>
教育長	<p>市費で臨時学校栄養士を入れていただいたお蔭で、小学校全22校に栄養士が配置され、食物アレルギーの児童生徒に対応できるようになったので、本当にありがたいことです。今のところ大きな大過なくきています。他市では、これだけの栄養士をいれているところはないので、上尾市のPRできることだと思います。</p>
市長	<p>「1-5のAEDの活用」について何かご意見はありますか。</p>
市長	<p>必要なときに使えるようにしていないといけませんね。</p> <p>資料にあるように、緊急時に使用し、結果的に救命につながったなど成果があがっているようなことが書いてあるので、良かったなと思います。</p>
細野教育長職務代理者	<p>改めて、一秒を争うということで、AEDを取りに行く時間ももつたいたないとすると、1台より2台、2台より3台ということで、どうしても予算の問題になってしまいますが、1台でも多くいれていただければと思います。</p>
市長	<p>それでは、議題の(2)「SNSやメールでのいじめ対策について」、説明をお願いします。</p>
教委事務局 (学校教育部長)	<p>1つ目は「SNSやメールでのいじめ対策」です。</p> <p>教育委員会では、平成27年度より、ネットパトロール業者に委託して、非公式サイト・監視調査を行っています。</p> <p>そこで、問題のある投稿を発見した場合、中学校に情報を提供し、学校が生徒指導を行うなど、いじめの早期発見に役立てています。</p> <p>また、保護者や教員を対象に、今年7月、「夢・感動教育・子供すこやかシンポジウム」を、11月に「青少年・健全育成地域のつどい」を開催して、「ネットやSNSのいじめ」をテーマに、講演や協議を行いました。</p>

<p>教委事務局 (学校教育部長)</p>	<p>2つ目は、「他市や他県のいじめ対策の取組」です。 他市の状況を全て調べきれていませんが、県内の状況で川口市では、「いじめ対応教員」が、いじめ対策の中心的な役割を担っています。 また、「いじめから子どもを守る委員会」を組織して、法律などを専門とする相談委員が対応しています。 戸田市では、小・中学校で、弁護士による「いじめ防止の特別授業」を実施しています。 さいたま市では、LINEによる相談窓口を開設し、臨床心理士ら、専門の相談員が対応しました。 233件の相談があり、「LINEだから相談できた」などの反応があったとのことです。</p> <p>3つ目は、「海外でのいじめ対策の取組」です。 これも資料があまりなかったのですが、平成27年の1月に、「全国都道府県教育長協議会の総合部会」があり、そこで報告書を出しており、それに基づいております。 ノルウェーでは、国の「いじめ防止プログラム」を多くの学校で導入しており、「いじめ件数の減少」や「友情関係の向上」などが、成果として表れているとのことです。 オーストラリアでは、生徒が、「シティズンシップ教育」を通して、「ルール必要性」や「他人との関わり」などを学び、自らの行動について、考えを深めています。 また、年1回、全国で「反いじめ・反暴力・ナショナルデー」を開催しているそうです。 フィンランドでは、政府の「いじめ防止プログラム『KiVa (キヴァ)』」を全国の学校で導入し、いじめ発生時の対処法などを学習しており、いじめ被害が減少しているとのことです。</p> <p>4つ目は、「いじめはなぜ発生するのか、発生しないようにするためには」です。 いじめが発生する要因は様々ですが、「不機嫌や怒り」などのストレスをもった児童生徒が、それを発散させるため、弱い立場の相手に対して、加害行為を行うことが、要因の一つとされています。 いじめを発生させないためには、児童生徒が、自己有用感や充実感を感じられる場や集団づくりが重要であると考えています。 説明は以上です。</p>
<p>市長</p>	<p>一括でご意見を伺いたいと思います。 「2-1~4」について何かご意見はありますか。</p>
<p>市長</p>	<p>他市や海外でのいじめ対策の取り組みについて いじめをなくすとは、どういうことなのか。我々は家庭でしつけられて、善悪を覚え、礼儀作法を教わり、その範囲内で生きてきました。 今の子どもたちは、そこに至るまでいかず、幼少期からいじめが始</p>

市長	<p>まることもあり、善悪がつかないまま過ごしてしまうこともあります。他市の取組、海外の取組はとてもよく、上尾市としてどういう取り組みをしていけばよいか考える参考になります。</p>
教育長	<p>川口市の取り組みについて</p> <p>川口市は学校数が非常に多く、一同に校長会議が開けないということがあります。上尾市の場合、毎月1回、校長会議があり、教育委員会から校長先生にお願いをしたり、説明を受けたりしながら進みますので、そういう意味では上尾市は恵まれているかなと思います。</p> <p>川口市で取り組んでいる「いじめ対応教員」や、「いじめから子どもを守る委員会」の設置は、上尾市においても役立つなと思います。</p> <p>戸田市の取り組みについて</p> <p>戸田市で取り組んでいる「弁護士によるいじめ問題の解説」は、弁護士にお願いをすると学校に来ていただいて解説をしてくださるというもので、「いじめは犯罪である」というような対応・解説です。</p> <p>いじめの認知について</p> <p>いじめは、どこでも、誰にでも起こるといのが全国共通になってきています。「いじめ」という言葉にこだわらず、いじめかいかいじめではないかではなく、その子どもが嫌な思いをしたとか、色々辛い思いをしているとかであれば、まずは認知してほしいというのが、国の見解で、起こった案件について、認定したら挙げてくださいということです。</p> <p>認定イコール、すぐに対応するということにつながらないといけません。どんな小さな些細なことであっても、その本人が「嫌だ」ということであれば、本人からアンケートを取り、保護者からも連絡がくるといことになれば、いじめと認定するということです。</p> <p>上尾市の教育委員会では、校長先生方と共通理解しているのは、保護者と一緒に相談をした場合には、学校だけで止めないで、教育委員会にも必ず伝えてくださいということにしています。</p> <p>従って、認知件数は、毎月教育委員会で、指導課長から教育委員へ報告をしています。認知件数は増えています。</p> <p>その中で、案件によっては、もっと教育委員会が情報を知っていないといけないという案件と、学校長の方で判断していただいて、軽微だが、報告しておきますという案件があります。案件によって、様式を変えています。教育委員会に挙がってくる件数は、数年前よりも増えています。教育委員会でも重大案件と判断した場合、教育長で止めないで、市長まで報告しています。</p>
大塚委員	<p>認知されないいじめ、例えばSNSなど、認知することは大変難しいことだと思います。いかに気付いてあげるか、救ってあげるかとても大切だと思います。子どもたちは気付いてほしい、でも気付いてもらえないと思っている子どもが多いと思います。そういう子どもたちのためにも、何か良い対策があればと思います。</p>

市長	<p>例えば、資料２－１にある、他市の取組、資料２－３にある海外の取組事例等ありますが、気付いてあげるといことでは、どう対応し取り組めばいいのでしょうか。</p>
大塚委員	<p>「気付いてあげる」のは、ネット上では分かりませんので、普段の生活態度や過ごし方でしか分からないと思います。</p> <p>いじめられている子は、誰にも気付かれずに悩んでいる子が多いと思います。ネットパトロール業者がどこまで監視できるのか分からない部分もあります。</p>
内田委員	<p>「見つける」ということはとても難しいと思います。</p> <p>戸田市の取組で、「弁護士によるいじめ問題の解説」の中で、「いじめは犯罪である」というような認識を持たせることは、とても重要なことだと思います。今やっていることは、悪いことだ、と気付かせるということは、とても必要なことだと思います。</p>
市長	<p>そういった事例が起きた時だけ、市内全小・中学校で「いじめ防止特別授業」をやるんですね。</p>
内田委員	<p>前もって、定期的に子どもたちに伝えていければと思います。</p>
市長	<p>そういう事例が挙がっているのとは別にして、やってはいけないということを教え込まなければいけないと思います。</p>
細野教育長職務代理者	<p>道徳教育について</p> <p>今、「道徳」というのが教科化になり、道徳の中でも、いじめについてあります。私は家庭の中で社会のルールやマナーを教え込んでいて、いじめというのは一生の間、学校だけでなく社会に出ても、いじめはあると思います。「道徳の授業の中で教えていく」ということが重要になってきています。いじめというのは、いじめられていた子は次の日、いじめる側にいくこともあります。人間の心は状況によって、どんどん変わっていくことがあります。大切なことを道徳の中で教えていくことが必要だと思います。</p> <p>上尾市の中で、タブレットを入れていただいたので、道徳の授業でも活用し、学級の中で、どういう人がどういう考えをしているのか、棲み分けていくという手法も取り入れていただければいいなと思います。</p>
市長	<p>我々も年代的には、SNSなどのメールが不得意な部分が多いと思います。親は、子どもが学校でやってはいけないことを教わった場合、家でも同じようにしていかないといけないと思います。家庭と学校の連携があるといいと思います。学校で習ったことを家庭でも教えるなどするとよくなるのではないかと思います。</p>

中野委員	<p>道徳の教科書にもメールを使ったいじめの資料が入っています。いじめに走る心の教育は、学校の方針を基に、それぞれ教員が子どもたちに指導するということが日々の指導の中にあると思います。</p> <p>その中で、例えば、メールのいじめとかがあった場合、各学校で、同じような事例の授業をやり、保護者に見に来てもらう、授業公開をして、そのあと話題にのせて話し合うなど、そういう取り組みも学校では行っていると思うので、積極的に行い、他市、外国の事例も挙げていただいたので、参考にしながら、学校、家庭、地域と連携しながら、それぞれがいじめの問題にどう取り組んでいくのか、考えていくことが必要だと思います。</p>
市長	<p>ノルウェーの取り組みについて</p> <p>資料２－３にある、ノルウェーの「国が用意したいじめ防止プログラム」は、参考に入手できればと思います。国の取り組みであると思いますが、各地方の情報を積み重ねたものを参考に、国の取り組みとして挙げていると思いますので、是非集めていただきたいと思います。</p>
教委事務局 (学校教育部長) 市長	<p>インターネットで検索もできますので、調べてみたいと思います。</p> <p>その他、何かございますでしょうか。</p>
事務局 (秘書政策課長)	<p>今回の総合教育会議の予定ですが、年内の定例教育委員会の会議に合わせて予定しております。また、時期が近くなりましたら、ご連絡差し上げます。よろしく申し上げます。</p>
市長	<p>只今、事務局からありましたが、何かありましたらお願いします。特にないようでございますので、これで議事はすべて終了いたします。皆様のご協力ありがとうございました。</p> <p>大変有意義な会議であったと思います。今年度は３回の会議を予定しています。上尾の子ども達のために、今後も行政と教育委員会とがより一層連携を深めていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。それでは、進行を事務局にお返しします。</p>
司会 (市長政策室長)	<p>それでは、教育委員会を代表いたしまして、池野教育長から閉会のご挨拶をお願い致します。</p>
教育長	<p>本日の第２回総合教育会議、どうもありがとうございました。今年度は全３回ということで、回数的にも総合教育会議が充実してきたことと感じました。市長と教育委員さんの中で、色々と意見交換ができたということで、活発な意見交換ができたのではないかと思います。今年度もう１回ありますが、またテーマを決めて活発な意見交換し、教育の充実につなげていければと思います。</p>
司会 (市長政策室長)	<p>皆様、お疲れ様でした。以上で平成３０年度第２回上尾市総合教育会議を閉会いたします。</p>

